

### 3 調査の内容

#### (1) 教科等

実施学年	調査の内容	
小学校4年生から6年生	国語・算数	質問調査
中学校1年生	国語・数学	
中学校2年生から3年生	国語・数学・英語	



※出題範囲は、調査を受ける前の学年までに学習した内容になります。  
(例えば、小学校4年生の問題は小学校3年生までに学習した内容です。)

#### (2) 調査のスケジュール

実施日 令和6年4月24日(水)から5月22日(水)

結果の返却 令和6年8月以降を予定

### 4 家庭での調査結果の活用法 「伸び」が見えると「意欲」が高まります！

一人一人が自分の成長を  
実感する！



子供をやる気にさせるには、どのようにすればよいですか。  
お子さんのやる気を高めるには、調査の結果を見て、よかったところや伸びたところをほめてあげると効果的です。また、日頃からお子さんの学習への取組やがんばっていることをほめてあげることが大切です。



家庭では調査の結果をどのように使って、子供の力を伸ばしていくとよいですか。

家庭では調査の結果を見て、次のような取組を行うと効果的です。



コバトン

STEP1

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握

調査では、学習した内容が「どれだけ身に付いているのか」がわかります。毎年調査を受けることで「学力の伸び」も見ることができます。結果を見て、お子さんの現在の学力を知り、それをどれだけ伸ばしていくかということが大切です。学校の先生と話し合いながら、お子さんのよさを伸ばしましょう。

STEP2

一人一人のお子さんに合った「目標の設定」

お子さんの「よいところ」「努力が必要なところ」を把握したら、それぞれのお子さんに合った目標を立てることが重要です。

STEP3

「家庭学習の習慣化」

目標に向けて学力を伸ばしていくためには、家庭学習を習慣化していく必要があります。学習する内容は、学校の授業の予習・復習を中心に行うとよいでしょう。

学習の成果は、毎年調査を受けることで「学力の伸び」を見て確認することができます。

家庭学習を習慣化するためには、どのようにしたらよいですか。

家庭学習を習慣化するためには、お子さんの主体的に学習に取り組む態度を育むことが大切です。

そのためには、お子さんの「伸びたところ」「努力が必要なところ」を把握し、お子さんと一緒に具体的な目標を決めてみるとよいでしょう。

また、調査の結果から、お子さんの「よかったところ」や「伸びたところ」をほめ、お子さんと一緒に家庭学習を習慣化するためのルール作りをしてみるとよいでしょう。

問い合わせ先

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課 学力向上推進・学力調査担当  
電話：048-830-6752 メール：a6750-01@pref.saitama.lg.jp